

竹中大工道具館企画展

木と共に生きる - 木地屋 小椋榮一の仕事 -

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび竹中大工道具館では、2015年3月21日(土)から4月26日(日)まで、企画展「木と共に生きる - 木地屋 小椋榮一の仕事 -」を開催いたします。

竹中大工道具館では、これまで鋸や鉋などの大工道具をはじめ、大工、^{さかん}左官、^{かざり}銚師、屋根職人などの伝統文化にかかわる職人の技と心をテーマに企画展を開催してきました。

今回のテーマは、ろくろで木地を挽き椀や盆をつくる職人「木地屋」。本展では、長野県の^{なぎそ}南木曾で活躍した木地屋・^{おぐらえいいち}小椋榮一氏の作品と道具を通して、木を熟知し美しい木目を引き出す木地屋の技と^{ひきもの}挽物の魅力に迫ります。

本展では直径134cmの丸卓、大鉢、盆、^{じきろう}喰籠など興禅寺（長野県木曾郡木曾町）所蔵の小椋榮一コレクション約25点、木地の製作工程と道具、木地屋にまつわる文献資料等を展示するほか、木地屋の歴史をパネル展示でご紹介します。

木地屋の技と挽物の魅力を知るまたとない機会ですので、ぜひともご来場くださいますようご案内申し上げます。また、あわせて貴媒体にて記事としてお取り扱いいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

なお、広報用写真をご用意しております。読者・視聴者プレゼントにつきましても写真借用申込書にてお申し込みを受け付けております。ご希望の場合は、別紙の写真借用申込書にてご請求ください。その他、ご不明な点や資料等のご要望、撮影などの取材を希望される場合は、下記の広報事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

謹白

公益財団法人 竹中大工道具館

木と共に生きる－木地屋 小椋榮一の仕事－

山から木を伐り出してろくろにかけ、椀や盆などの木地をつくる職人、木地屋。
本展では、長野県の南木曾で活躍した木地屋・小椋榮一の作品と道具を通して、
木を熟知し美しい木目を引き出す木地屋の技と挽物の魅力に迫ります。

■開催概要

展覧会名：木と共に生きる－木地屋 小椋榮一の仕事－

会期：2015年3月21日(土)～4月26日(日)

会場：竹中大工道具館（神戸市中央区熊内町7-5-1）

開館時間：9:30～16:30(入館は16:00まで)

休館日：月曜日(祝日の場合翌日)

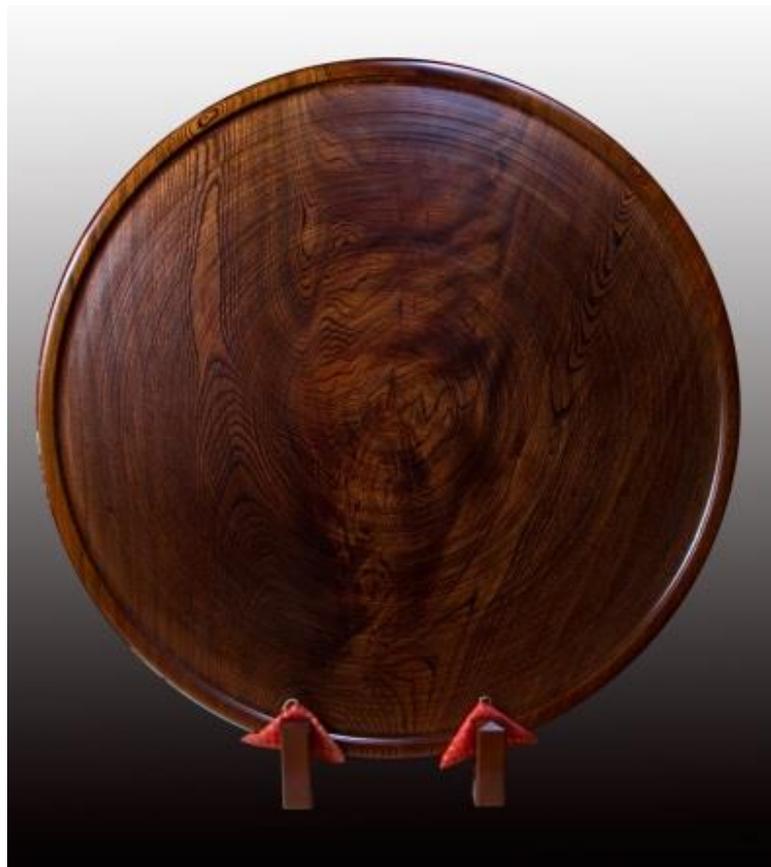
入館料：一般500円、大高生300円、中学生以下無料、65歳以上の方200円

※常設展観覧料を含む

主催・企画：公益財団法人 竹中大工道具館

協力：木地屋やまと、萬松山興禅寺

特設サイト：http://www.dougukan.jp/special_exhibition/kijiya



A：櫛造拭漆丸卓（径134cm）興禅寺蔵

■小椋榮一 プロフィール

昭和 12 年（1937）、長野県木曾郡南木曾町に生まれる。
16 才より父・友市に師事し、以後 50 年余ろくろの木地屋に従事。
平成 5 年、日本工芸会正会員に認定。平成 22 年（2010）逝去。



B：小椋榮一氏



C：ろくろで木地を挽く小椋榮一氏

■見どころ

1. 木地屋 小椋榮一の作品

興禅寺所蔵のコレクションを中心に、丸卓、喰籠^{じきろう}、盆、大鉢など選りすぐりの約 25 点を展示します。



D : 柘造拭漆喰籠 興禅寺蔵



E : 樺杵造黒柿象嵌盛器 興禅寺蔵

2. 木地づくりの工程と道具

原木から木取り、ろくろにかけて木地を挽く工程を製作道具とともに紹介します。小椋榮一氏は原木の選定から仕上げの拭き漆まで自ら行い、木が持つ木目の美しさを最大限に引き出しました。



F : 木地屋の道具

3. 木地屋の歴史

木地屋の歴史は古く千年以上前にまでさかのぼると言われます。良材を求めて日本各地の山を渡り歩いた木地屋たち。その歩みをパネルで紹介します。

■記念イベント

◎技と心セミナー「木地屋の話とろくろ実演」

日時 3月28日(土) 13:30~15:00

講師 [実演] 小椋正幸(木地屋やまと)、[語り手] 松本直子

場所 竹中大工道具館 木工室

定員 30名(入館料別途・事前申込制)

申込締切 3月13日(金)

◎実演・体験「ろくろを挽く」

日時 4月19日(日) 13:30~15:00

講師 小椋正幸(木地屋やまと)

場所 竹中大工道具館 木工室

定員 30名(入館料別途・事前申込制)

申込締切 4月3日(金)

■申込み方法

◎ウェブメール

企画展特設サイト (http://www.dougukan.jp/special_exhibition/kijiya) よりお申し込みください。

◎往復ハガキ

【往信用裏面】 イベント名、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、年齢

【返信用表面】 宛先にご自身の氏名、郵便番号、住所をご記入ください。

【申し込み先】 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 竹中大工道具館イベント係

【問い合わせ】 竹中大工道具館 TEL: 078-242-0216

※1通につき1名様まで

※応募者多数の場合は抽選となります。

※参加の可否は締切日以降にご連絡します。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、企画展記念イベント以外の目的には使用いたしません。

■プレス関連の問い合わせ

画像掲載については添付の申込書(FAX)またはE-mailにてお申し込みください。

「木と共に生きるー木地屋 小椋榮一の仕事ー」展広報事務局(竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713

E-mail: kijiya@dougukan.jp

※展示やイベントの日時・内容は変更になることがあります。

最新情報はホームページでご確認ください。

特設サイト: http://www.dougukan.jp/special_exhibition/kijiya

FAX : 078-241-4713

『木と共に生きる一木地屋 小椋栄一の仕事』展広報事務局行き

写真借用申込書

竹中大工道具館企画展『木と共に生きる 一木地屋 小椋栄一の仕事』

- ▶ 広報用に画像データ(JPEG)をご用意しております。ご希望の方は当館ホームページのプレス向け情報または下記ご記入のうえFAXにてお申込みください。画像データをメールにて送信いたします。
- ▶ ご紹介いただける場合、読者プレゼント用として竹中大工道具館の招待券(ペア)5組を提供いたします。ご希望の際は下記の「希望する」をお囲みください。
- ▶ その他、撮影などの取材をご希望される場合は別途事務局までご連絡ください。

掲載媒体名		
掲載予定日	月	日
媒体種別	新聞 / 雑誌 / テレビ / ラジオ / インターネット	
	その他()	
画像送付先	貴社名	
	ご担当者名	
	E-mail	
	ご住所	
	電話・FAX	
希望画像名	プレスリリース内の画像をご参照のうえ、ご希望の画像の記号に☑をご記入ください。	
	<input type="checkbox"/> A: 檜造拭漆丸卓(径134cm)興禅寺蔵	<input type="checkbox"/> B: 小椋栄一氏
	<input type="checkbox"/> C: ろくろで木地を挽く小椋栄一氏	<input type="checkbox"/> D: 栢造拭漆喰籠 興禅寺蔵
	<input type="checkbox"/> E: 檜杵造黒柿象嵌盛器 興禅寺蔵	<input type="checkbox"/> F: 木地屋の道具
読者プレゼント	希望する / 希望しない	

【ご掲載にあたってのお願い】

- ・画像をご使用の際は必ずご案内のクレジットをご表記いただき、申請の目的以外にご使用なさないください。
- ・掲載記事・番組内容について情報確認のためにゲラ刷り、原稿の段階で下記事務局までFAX送信ください。
- ・お手数ですが、掲載紙・誌、または録画媒体等を下記広報事務局あてに1部ご寄贈願います。

報道関係お問合せ先 / 『木と共に生きる一木地屋 小椋栄一の仕事』展広報事務局 (竹中大工道具館内)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町 7-5-1
TEL: 078-242-0216 FAX: 078-241-4713
e-mail: kijiya@dougukan.jp
特設サイト: http://www.dougukan.jp/special_exhibition/kijiya